

① 理解と協力を促す普及啓発

①-1心のバリアフリーの集中的広報事業

【目的】

施設のバリアフリー整備に加え、ソフト面の取組として、全ての人が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続ける「心のバリアフリー」への理解を促進し、共生社会の実現を目指す。

<目標> 都民の「心のバリアフリー」の認知度 令和3(2021)年度:**50%** ⇒ 令和12(2030)年度末:**75%**

【事業内容】

1 イメージしやすい キャッチフレーズとシンボルマーク を設定

2 「心のバリアフリー」HPの開設・更新

- ▶ 共生社会の実現を目指すための情報発信サイト(R5)

3 ターゲティング広告の実施

- ▶ 子供向け(R5)、若年層向け(R6)にPR動画を作成し、YouTube等で広告を実施
- ▶ 中高年層向け(R7)に紙媒体(新聞折込情報誌等)、ディスプレイ広告を実施

4 「心のバリアフリー」に関する解説動画の制作

- ▶ 子供向けの「心のバリアフリー」の学習を補助する解説動画(R5)
- ▶ バリアフリー設備の適正な利用を促す動画
 - ・ 公共トイレ(R5)、障害者等用駐車区画(R6)、視覚障害者誘導用ブロック、段差解消(店舗出入口)(R7予定)
- ▶ 見た目では分かりにくい障害者等への配慮、外国人へのコミュニケーションでの配慮に関する解説動画(R6)

5 普及啓発リーフレットの作成(公共トイレ、視覚障害者誘導用ブロック、障害者等用駐車区画)

6 ポスターコンクールの実施

- ▶ 小学生の部、中学生の部それぞれ最優秀賞を1点、優秀賞を5点選考し表彰

○ キャッチフレーズとシンボルマーク

ハートとハードで、バリアをなくそう！



○ 『心のバリアフリー』HP



○ 中高年層向け広告



○ 広告動画



○ 子供向け解説動画



○ バリアフリー設備の解説動画



① 理解と協力を促す普及啓発

①-2こども向けバリアフリーアニメーション

【目的】

バリアフリーについて、子供がわかりやすく、楽しく学べるよう、子供に人気のキャラクターとコラボレーションしたアニメーションを作成・発信することで、子供のバリアフリーに関する理解を促進し、誰もが生活のさまざまな場面で支えあえる共生社会の実現に寄与する。



【事業内容】

- 子供向けバリアフリーアニメーション(3分程度分×4本)、広告用動画(15秒、6秒 各1本)を作成
- 令和7年10月末に公表予定
- 「心のバリアフリーHP」に掲載、YouTube等のWEB広告や子供と一緒にファミリーが利用する施設で動画広告を実施

② バリアフリー設備の適正利用の推進

【目的】

視覚障害者誘導用ブロックやバリアフリースイレ等のバリアフリー設備について、適正利用を推進する。

【事業内容】

○ バリアフリースイレ

- ▶ 多様な利用者のニーズに配慮したユニバーサルデザインのトイレづくりハンドブックの作成(R3)
- ▶ 解説動画、リーフレットの作成(R5)

○ 視覚障害者誘導用ブロック

- ▶ 解説動画、リーフレットの作成(R7予定)

○ 障害者等用駐車区画(車椅子使用者用駐車施設、優先駐車区画)

- ▶ 適正利用に向けたキャンペーン活動を1都3県共同で実施
- ▶ 解説動画、リーフレットの作成(R6)

○ 店舗出入口の段差解消

- ▶ 解説動画の作成(R7予定)



○ ユニバーサルデザインのトイレづくりハンドブック



○ 解説動画 (バリアフリースイレ)



○ チラシ



○ リーフレット

(1都3県共同キャンペーン) (障害者等用駐車区画の適正利用)

「心のバリアフリーHP」にてバリアフリー設備に関する情報を一体的に発信

③事業者等によるソフト対応の取組促進

③-1心のバリアフリーサポート企業連携事業

【目的】

「心のバリアフリー」に主体的に取り組むとともに、都の取組に協力する企業等を「心のバリアフリーサポート企業」として登録し、都のホームページ等で取組内容を公表することにより、心のバリアフリーに対する社会的気運の醸成を図る。

【事業内容】

○ サポート企業の登録

心のバリアフリーに自ら取り組むとともに、都や区市町村の取組に協力する企業を「サポート企業」として登録。登録証を発行し、都ホームページで企業名を公表。

○ 好事例企業の認定

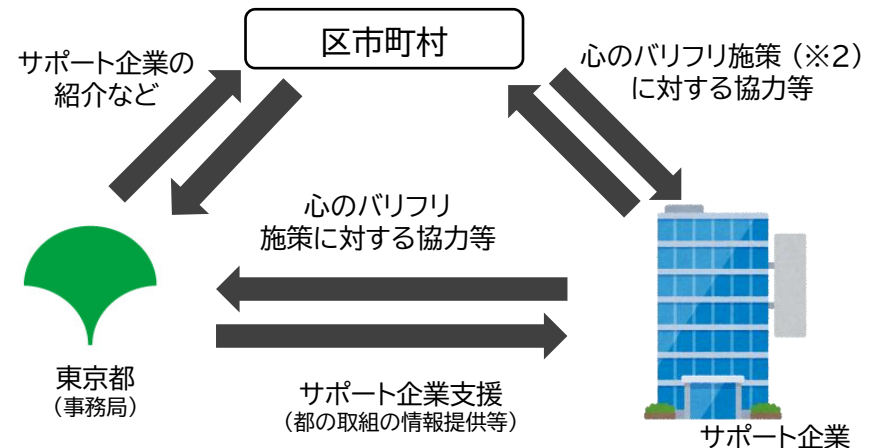
先進性、独自性、波及効果等の観点から、特に優れた取組を行っている企業を「好事例企業」として認定。認定証を発行し、それぞれの取組内容を都ホームページで紹介。



【登録数】（令和2年度は未実施）

	サポート企業	好事例企業
平成30年度	150社	11社
令和元年度	115社	10社
令和3年度	140社	15社
令和4年度	87社	9社
令和5年度	51社	10社
令和6年度	57社	11社
累計	600社	66社

《東京都・サポート企業・区市町村の連携例》



※2 例:区市町村によるセミナーでサポート企業が講演
イベントでのUDタクシーの車椅子乗降体験の実施

③事業者等によるソフト対応の取組促進

③-2区市町村におけるユニバーサルデザイン学習普及事業 (地域福祉推進区市町村包括補助事業)

【目的】

ユニバーサルデザインの考え方の理解を深めることや、まちなかでの行動を促すことなどを目的に、「心のバリアフリー」の普及啓発を図る区市町村を支援

【事業内容】

地域住民向けに必要な知識や技術等の学習機会を提供するためのセミナーやワークショップなど、心のバリアフリーに係る普及啓発イベントの開催等について、区市町村の取組を支援

- ・子供たちの体験活動等、ユニバーサルデザイン教育の普及促進
- ・ユニバーサルデザインに関する生涯学習として実施する地域住民向けセミナー・ワークショップ
- ・接客など、実際に障害者等に対応する事業者に対するユニバーサルデザイン研修等の普及促進
- ・地域住民向けのまち歩きやワークショップの講師を担当する人材となるまちづくりサポーター等の養成
- ・施設の適正利用、まちなかでの障害者・外国人等への配慮に関する普及啓発用DVD・印刷物等の作成 等

R6区市町村補助実績 9区3市